

税について考えよう

— 平成28年度納税表彰 —

11月16日、アミューズメント佐渡で平成28年度の納税表彰式が行われ、申告納税制度の普及・発展や租税教育の推進などに尽力された方々が表彰されました。



★佐渡税務署長賞

鈴木 玲美さん (南佐渡中3年)
神藏 知奈美さん (両津中3年)

★新潟県佐渡地域振興局長賞

山下 健太郎さん (両津中3年)

★佐渡市長賞

向山 佳那さん (佐和田中3年)
本間 梓さん (佐和田中3年)
寺島 琴乃さん (松ヶ崎中3年)

★佐渡市教育長賞

川原 朱莉さん (金井中3年)
松下 のあさん (佐和田中3年)
平野 越琉さん (赤泊中3年)
相田 涼乃さん (畑野中3年)

★佐渡税務団体連絡協議会長賞

横山 未来さん (金井中1年)
★全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞

安藤 愛音さん (両津中3年)

地多 快介さん (高千中3年)

北澤 琉輝さん (内海府中1年)

大地 花音さん (相川中3年)

斉藤 未帆さん (新穂中2年)

★作文募集協力校全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

両津中学校

中学生の税についての作文

市内の12校から326編の応募があり、その中から選ばれた入選者です。

★新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

増田 いぶきさん (真野中3年)

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

「私が税に対して思う事」

真野中学校
3年 増田 いぶき



消費税率八%。本当は百円で買える商品が百八円を出さないと買えない。よく両親は、「また税金が上がった。」と言いながらの困り顔。

このような現実を見て、私は税というものにあまり良い印象をもってはいませんでした。何に使われているのか、誰が使っているのか不透明なのですが、私たちが生きていく中で切っても切れない厄介なものと感じられずにいました。しかし、そんな厄介なものがない、消えずに国民に浸透し、不満を持ちながらも、納税しているのかが疑問でした。たしかに納税は国民の三大義務の一つであります。ですが、こんなにも税金ばかりでしぼられている国は、日本しかないのでは、と思い、インターネットで調べてみました。すると、ヨーロッパにあるデンマークという国では、消費税率が二十五%もあるということを知り、大変驚きました。この国は不平不満だらけで内戦勃発の国ではないかと想像しましたが、なんと国民の幸福度が世界一の国なのだそう。なぜでしょう。それは集まった税金を利用し、老後の生活を保障していたり、医療機関使用・教育に関する費用を無料にしていたりと、広く国民の生活がサポートされているから

だそう。これならば、全国民に公平に税金が使われているなと思いました。また貧しい人でも教育を受けられたり、医療も受けられたりできるので、たしかに幸福だなと感じました。消費税は特定の世代に負担が集中しないし、税収が安定し、なにより高い財源調達力があります。デンマークは消費税によって集まった資金を全世代に向けて公平に、幅広く活用しています。小さな子どもでもお菓子やおもちゃを買えば、消費税を納めるので立派な納税者です。その事をしっかり理解し、納めている分だけ国民の生活がより充実するように税金を使用していることに非常に感激しました。

また日本でも、税金は子どもの教育のための教科書を無償配布するために使われていたり、医療・介護の充実、ごみの処理、災害からの復興をしたりと国民の生活に大きく関わってきています。このことを知り、税への考えが大きく変わりました。今の日本は少子高齢化がどんどんと進んでいっています。が、世代を問わず国民一人ひとりが安心して暮らし、老後も安定した生活が送れるような社会を創るために税金は使われています。それを思うと、今まで厄介なもの、なくなければいいのに、とばかり考えていた税金がとても大切なものだという事に気付くことができました。これからも、納税している分だけ私達国民に還元され、安心して生活していけるような社会が続く、また発展していったらいいと思います。